

# 昭和 SPレコードで辿れば

## 愛國百人一首

### SPレコード収集家 ■ 城内 實

なことを言つ資格はない。

#### (一)

正月に宮中で恒例の歌会始が行われた。日本の伝統文化を連綿と継承している皇室にとり、和歌というものが如何に重要な役割を果たしているのか改めて考えさせられた。

和歌というものは筆者を含め現代人の、特に戦後世代の日常生活からは誠に縁遠い存在となつてしまっている。学習指導要領がどうなつていたのか知らないが、学校で和歌というものをまともに習つた記憶がない。

しかし、せつかく我々の祖先が残したこの無形の文化的遺産を我々自身が大切にし、きちんと次の世代に継がずして、「世界文化遺産の保護を通じて国際社会に貢献する」などと偉そう

山ゆかば 草むす屍  
大君の 辺にこそ死なめ  
かえりみはせじ

(大伴家持、信時潔作曲)

短い和歌の文句の中に日本の風土と大和魂がみごとに凝縮されている。

「君が代」や「海行かば」は各社から数多くのレコードが発売されたが、この二曲以外に和歌に曲をつけてレコード化されたものは意外と少ない。三十一文字そこそこの短い歌詩であるだけに、曲をつけるのが困難を極めたのであろう。

君が代は 千代に八千代に  
さざれ石の いはほとなりて  
こけのむすまで  
(古歌、林広守作曲)

海ゆかば 水漬く屍  
(かばね)

筆者の手元に「やまとには」という日本コロムビアから昭和十五年に発売されたレコードが

ある。これは紀元二千六百年奉祝会謹撰で、万葉集の舒明天皇御製に、「海行かば」の信時潔が謹作曲、下總院一が謹編曲し、当時東京音楽学校の助教授であつた澤崎定之が指揮し、上野の同校の学生が合唱（謹唱）しているものである。

大和には 群山あれど

とりよろふ 天の香具山

登り立ち 國見をすれば

國原は 煙り立ち立つ

海原は 鷗立ち立つ

うまし國ぞ 蜻蛉島

大和の國は

この舒明天皇御製だけからも、当時の平和で豊かな大和の情景が目に浮かんでくるが、AB両面にわたる曲の方もこの御製に相応しい格調の高さをそなえたものである。同じ年に流行した「紀元二千六百年」(紀元二千六百年奉祝会及び日本放送協会制定)の大衆迎合的な品のなさと比べてみると良く分かるが、こちらの方は芸術品ともいえる珠玉の名作である。復刻もされ

すでに埋もれてしまっているのは大変残念なことである。

## (四)

大東亜戦争が始まると、愛国精神の涵養をめざすべく「愛國百人一首」が内閣情報局の指導の下に編纂された。

これは東京日日新聞社・大阪毎日新聞社により、全国民が愛誦する古歌が公募されたことに始まり、当時の一流の歌人の他に歴史学者、朝野の権威者からなる選考委員会が設けられ、昭和十七年十一月二十日に選定を終え、最終的に残った百首が発表された。

参考までに言うと、選考基準は以下の三点であった。

飛鳥から江戸幕末間に詠まれた、詠歌者の判明している和歌。愛国精神が、健やかに、朗らかに、積極的に表現されている。愛国の意義を広く解し、親子、夫婦、国土、風物を愛でる歌。

## (五)

「愛國百人一首」からレコー

ド化された和歌はそう多くはないが、「国民歌謡」にもなった

「みたみわれ」は有名である。

御天地の榮ゆる時に  
遇へらく念へば

いが、「国民歌謡」にもなった  
「みたみわれ」は有名である。

御天地の榮ゆる時に  
遇へらく念へば

これは万葉集の中の海犬養

岡麻呂の作であり、この歌の意味するところは、「天皇の尊い民である我々は、天地とともに隆盛を極めている天平の御世に偶然生まれ來たが、これはまことに生きている甲斐がある素晴らしいことだ」である。

「みたみわれ」は大政翼賛会制定で、山本芳樹作曲、橋本國彦編曲の名曲である。キング改め富士音盤から永田絃次郎、井口小夜子（昭和十八年十月発売）、ティチクからは高木清（昭和十八年十月発売）、日本ビクターからは四家文子、藤井典明（昭和十八年九月発売）、日本コロムビア改めニッチクからは伊藤武雄（昭和十九年一月）の歌でそれぞれ発売された。

これは万葉集の中の海犬養岡麻呂の作であり、この歌の意味するところは、「天皇の尊い民である我々は、天地とともに隆盛を極めている天平の御世に偶然生まれ來たが、これはまことに生きている甲斐がある素晴らしいことだ」である。

## (六)

「みたみわれ」以外に「愛國百人一首」の和歌に曲を付けてレコード化されたものとして次のものが挙げられる。

「しきしまのやまと心を」（本居宣長）と「天皇に仕えまつれと」（佐久良東雄）の二曲が、キングレコードから富士音盤に改められた記念すべき第一号のレコードとして吹き込まれた（昭和十八年五月発売）。

また、ティチクからは同年五月に「皇は神にしませば」（柿本人麻呂）と「しづたまき・かずならぬ身を」（児島草臣）がさらに富士音盤から富士音盤から、山田積善、伊藤長四郎、宮川静枝、稻川忠一の四人に朗誦させた三枚組のレコードが昭和十九年一月頃に発売された。かなりの稀少盤であるが昨年末幸運にも入手できた。

「愛國百人一首」についてもう少し詳しく述べたいが、紙面の都合上別の機会に譲る。関心のある方は「國魂一愛國百人一首の解説」（西内雅著、錦正社刊）をお読み頂きたい。（続く）



司令長官山本五十六が壮絶な死を遂げた直後のことである。

## (七)

さらに富士音盤からは、「愛國百人一首」を二十首に絞って山田積善、伊藤長四郎、宮川静枝、稻川忠一の四人に朗誦させた三枚組のレコードが昭和十九年一月頃に発売された。かなりの稀少盤であるが昨年末幸運にも入手できた。

「愛國百人一首」についてもう少し詳しく述べたいが、紙面の都合上別の機会に譲る。関心のある方は「國魂一愛國百人一首の解説」（西内雅著、錦正社刊）をお読み頂きたい。（続く）